

キラキラ WEB 教室@home

肢体不自由等のある幼児とその保護者を対象とした教室です。

第8回 ことばを育てる

「ことば」とは何でしょうか？お話しすることだけが「ことば」ではありません。子どもたちは視線の向きや表情、身振りなど様々な方法で自分の思いを伝えようとしています。伝えたいという気持ちを育て、表現するための「ことば」を育てるために、日々のかかわりの中でできることをご紹介します。



子どもの気持ちに共感する

子どもが気になったもの、視線を向けたり声を出したりしたものを一緒に見て、子どもが言いたいことを言葉にして言ってあげましょう。子どもが、自分が言いたいことをわかってくれたと思うことで、「この人に伝えたい、わかってもらいたい」という気持ちが育ちます。

聴く力を育てる

ことばを理解するためには、耳から聴く必要があります。周りが静かな時に話をしたり、生活の中の様々な音を聞かせたりするなど、耳をすます経験をさせることで、音を聞く力、聞き分ける力が育っていきます。



一緒に遊んで楽しい時間を共有する

遊びは、子どもの育ちにとって様々な意義があります。手や頭を使う、想像力や創造力を育てる、遊びの中で楽しく言葉を覚える…。また、楽しい時間を一緒に過ごすことは、気持ちが育つことにも良い影響があります。まずは、子どもと一緒に楽しく遊んでみましょう。



地域支援
センター

相談専用携帯 080-7307-7175

第8回担当：郡山支援学校 研修部

こちらからバックナンバーもご覧いただけます

